

芝生用除草剤(殺苔・殺藻)

*一部殺菌剤を含む

商 品 名	一 般 名 (A・I%)	登録メーカー	毒性	魚毒 性	包 装	KG・L当り単価¥ (税抜き)	1ケース単価¥ (税抜き)	1回1㎡当り 登録薬量(g/ml)	1回1㎡当りコスト¥ (税抜き)	ワ ン ポ イ ン ト
アルテリア水和剤	フマル酸 80	日本曹達	普		500g×12	6,000	36,000	2~3	12~18	藻も発生前発生後も効果あり。かさ枯れ病にも登録あり。
オーソサイド水和剤80	キャブタン 80	北興化学・サンケイ アリスト	普	C	500g×20	3,645	36,450	1~2	3.6~7.3	藻類芝生育期(発生初期)、殺菌剤としても登録あり。
オキシンドー水和剤80	有機銅 80	日本農薬	普	C	1kg×20	5,007	100,140	0.2~0.3	1~1.5	コケ発生時に優れた効果を発揮。殺菌剤として登録あり。
キレダー	ACN 25	カネショウ	普	Bs	500g×20	10,000	100,000	2~4	20~40	コケ類・藻類に卓効。
クロステクト水和剤	マンゼブ 65 ミクロブタニル 2	ダウ	普		1kg×10	3,000	30,000	3	9	藻類発生初期、殺菌剤としても登録あり。
芝用エコパートFL	ピラフルフェンエチル 2	ニチノー	普	A	500ml×4	9,200	18,400	0.1~0.6	0.9~5.5	ベントグリーンの広葉雑草・コケ防除に。速効性。 生育期の日本芝には葉害が生じるので使用しない。
ダイヤモンド水和剤	クロルフタリム 50	サンケイ	普		500g×20	7,310	73,100	0.2~0.6	1.5~4.4	実績の長い土壌処理剤。 ベントグラス:秋冬期芝生育期(コケ類生育期)。
ダコグリーン顆粒水和剤	TPN 50 チウラム 30	SDS、レインボー クミアイ	普		1kg×10	3,200	32,000	2	6.4	藻類発生初期、殺菌剤としても登録あり。
ダコニールターフ	TPN 53	SDS	普	C	1L×12	5,350	64,200	1~1.54	5.4~8.3	コケ類:春夏期生育初期、藻類:発生前~初期、 殺菌剤としても登録あり。
ドウグリーン水和剤	有機銅 80	カネショウ	普	C	1kg×10	5,680	56,800	1.67~3.75	9.5~21.3	コケ類:発生前~生育期、藻類:発生前、 殺菌剤としても登録あり。
プロテクメートWDG	プロピネブ 70	バイエル	普		2kg×6	4,000	48,000	2~3	8~12	藻類発生前~初期に効果高い。殺菌剤として登録あり。
ペンコシャイン水和剤	オキシボコナゾールフマル酸塩 25 マンゼブ水和剤 65	クミアイ・大塚化学	普	B	1kg×10	3,900	39,000	3	11.7	ラン藻類、緑藻類に対し優れた防除効果。 殺菌剤としてブラウンパッチにも適用あり。
メダリオン水和剤	フルジオキシニル 50	シンジェンタ	普		400g×5	26,000	52,000	0.2~0.4	5.2~10.4	藻類発生初期、殺菌剤としても登録あり。
モノドクターフロアブル	ジラム 40	丸和バイオ	普		2L×6	3,500	42,000	2~4	7~14	藻類発生初期、少水量散布が可能。効果の発現が早く残効が長い。
ユニゾン水和剤	ペンチオピラド 4.25 マンゼブ水和剤 65	三井化学 理研グリーン	普		1kg×12	4,850	58,200	3	14.6	藻類発生初期が効果的、殺菌剤としても登録あり。

point

グリーンの散水とドライスポット

グリーンの土性が悪かったり、長年にわたる使用で土中の有機物が未分解ですと、透水性が悪化します。また、根部に付着したバクテリアの死骸の撥水性が高いことが、ドライスポットの原因の一つとされております。この対策は界面活性剤を有効成分とする剤の使用で解消しますが、毎年発生するようでしたら土性の改良を提案いたします。

高温時にドライスポット対策としてベントグリーンに過度の散水を行うことは、肥料の流亡をまねき、ベントの体力を奪い病害の発生を促すなど弊害が多く発生いたします。藻や苔の発生も散水の影響が大きいのと思われます。



コンバージョン

→Page 49

コンバージョンはベントグリーンにおける水のタテの移動を積極的に行います。コンバージョンを処理しておきますと、降雨中での水の停滞の軽減や降雨後における芝表面の過湿を防止出来ます。常に表層がサラッとしていた為、苔や藻に対する発生環境の改善が可能です。

苔の防除

- ①キレダー 3g/㎡、水量は300ml/㎡以上、3週間間隔で2回散布が有効です。
- ②キレダーは高温時の芝生の葉焼けに注意。

洋芝(ベントグラス・ケンタッキーブルーグラス)に適用・登録のある除草剤(一部殺菌剤を含む)

No.	商品名	製剤	一般名	AI (%)	毒性		使用量m ² 当り		適用芝		適用雑草						ワンポイント		
					LD ₅₀	TLm	g/ml	水量(L)	ベント	ケンタ	1年イネ	1年広葉	多年広葉	ヒメクグ	ハマズメ	苔類		藻類	
1	アグリーン顆粒水和剤	WP	ピラゾスルフロンエチル	70	普	A	0.02~0.03	0.15~0.3	○								気温による薬害なし。		
2	アルテリア水和剤	WP	フマル酸	80	普		2~3	1	○							○	発生前発生後とも使用可能。		
3	一本締液剤	L	メコプロップPカリウム塩	56.5	普	A	0.2~0.5	0.2		○		○	○				ホルモン剤。幅広い散布時期。		
4	インプールDF	WP	ハロスルフロメチル	75	普	A	0.03~0.05	0.2~0.3	○	○		○	△	○			広葉、ヒメクグ防除。ALS阻害剤。		
5	エイゲン水和剤	WP	ピリプチカルブ	47	普	A	0.75~1.5	0.2~0.25	○	○	○						イネ科専用土壌処理剤。		
6	MCP液剤	L	メコプロップ	50	普		0.5~1	0.1~0.2		○		○	○				代表的植物ホルモン剤。芝に軽い葉焼。		
7	エンドータルK液剤	F	エンドータルニカリウム塩	2.11	普		1~6	0.1~0.2	○	○							スズメノカタビラの茎葉処理剤。コアリングの直後でも安心して使用できる。		
8	オーソサイド水和剤80	WP	キャプタン	80	普	C	1~2	0.5	○							○	殺菌剤		
9	オキシンドー水和剤80	WP	有機銅	80	普	C	0.2~0.3	0.5~2	○							○	○	耐性菌の出現が出にくい。	
10	キレダ	WP	ACN(キノクラミン)	25	普	Bs	2~4	0.2~0.3	○							○	○	光合成阻害作用が強く、速効的に枯らす。	
11	クサブロック	WP	プロジアミン	65	普		0.08~0.24	0.2~0.3	○	○	○	○						イネ科土壌処理剤。	
12	グラッチェ顆粒水和剤	WP	エトキシスルフロ	60	普		0.015~0.075	0.2~0.3	○	○		○	△	○				広葉、ヒメクグ防除、苔も。ALS阻害剤。	
13	グラトップDF	WP	プロジアミン ハロスルフロメチル	40 12	普		0.15~0.3	0.2~0.3		○								西洋芝(ケンタッキーブルーグラス)に適用あり。	
14	クロステクト水和剤	WP	マンゼブ マイクロブタニル	65 2	普		3	0.5	○								○	殺菌剤	
15	サーベルDF	WP	メトスルフロメチル	60	普	A	0.001~0.004	0.15~0.2		○		○	○					暖地においては種類によって薬害有り。	
16	シバキープセイバー	F	イマゾスルフロ	40	普		0.2~0.4	0.2~0.3	○	○		○		△				西洋芝(ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス)に使用可。ヒメクグ・チドメグサに効果。	
17	芝用エコパートFL	F	ピラフルフェンエチル	2	普	A	0.1~0.6	0.1~0.2	○	○		○	○				○	ベントには安全性高い、バーミュエダには薬害有り	
18	ショートキープ液剤	L	ビスピリバクナトリウム塩	3	普	A	0.1~0.2	0.1~0.2	○	○								一時的な黄化抑制あり。	
19	ターザインプロDF	WP	イソキサベン フロラスラム	60 4	普		0.03~0.05	0.15~0.2		○		○	○					安全性高い。	
20	ダイヤモンド水和剤	WP	クロルフタリム	50	普		0.2~0.6	0.2~0.3	○		○	○					○	ベントグラス:秋冬期芝生育期(コケ類生育期)。	
21	ダコグリーン顆粒水和剤	WP	TPN チウラム	50 30	普		2	0.5	○								○	殺菌剤。	
22	ダコニールターフ	F	TPN	53	普	C	1~1.54	1	○								○	殺菌剤。	
23	ダブルアップDG	WP	シクロスルファミロン	66	普	A	0.03~0.06	0.2~0.25		○		○						一年生広葉雑草に。	
24	ディクトラン乳剤	EC	ジチオピル	32	普		0.075~0.3	0.2~0.3		○								メヒシバ、スズメノカタビラに卓効。	
25	ドウグリン水和剤	WP	有機銅	80	普	C	1.67~3.75	0.2~0.3	○								○	○	ベント夏期高温時連続散布で茎葉黄褐変すること有り。
26	バイザー水和剤	WP	ジチオピル	40	普		0.05~0.2	0.2~0.3		○	○	○							メヒシバ、スズメノカタビラに卓効。
27	ハブーン乳剤	EC	アラクロー	43	普	B	0.6~1.2	0.25、0.2~0.3*		○									ヒメクグに効果の高い土壌処理剤。
28	プラスコンM液剤	L	MCPAイソプロピルアミン塩	40	普	A	0.5~1.5	0.2		○		○	○						チドメグサには卓効。
29	フルスロット顆粒水和剤	WP	ベンフレゼート	30	普	A	0.1~0.3	0.1~0.2	○	○	○								スズメノカタビラ防除。
30	ブロードケア顆粒水和剤	WP	フルセトスルフロ	50	普		0.03~0.06	0.1~0.2	○	○	○	○	○	○					ベントグリーン更新直後は薬害リスクあり。
31	ブロードスマッシュSC	F	フロラスラム	4.5	普		0.02~0.08	0.15~0.2		○		○	○						タンポポ、クローバー卓効、広葉雑草防除。
32	プロテクメートWDG	WP	プロピネブ	70	普	B	3	0.5	○									○	殺菌剤
33	ポアキュア	EC	メチオゾリン	25	普		0.2~0.4	0.2~0.3	○	○	○								高い安全性が確認されているが事前試験の上散布が望ましい。 根部吸収の為、登録範囲内の水量を守って散布で効果が安定。
34	マックワンフロアブル	F	クミルロン	45	普	A	1~2	0.2~0.3	○	○	○								スズメノカタビラ専用土壌処理剤。
35	メダリオン水和剤	WP	フルジオキシニル	50	普		0.2~0.4	0.5	○									○	殺菌剤
36	モノドクターフロアブル	F	ジラム	40	普		2~4	0.2	○									○	藻類発生期でも早くシャープに効く。
37	ユニゾン水和剤	WP	ベンチオピラド マンゼブ水和剤	4.25 65	普		3	0.5	○									○	殺菌剤
38	ユニホップ	EC	メタミホップ	10	普	B	0.1~0.3	0.1~0.2	○	○	○								洋芝に対して安全性大。即効的。

(注) ○印：適用あり △：一部の草種

植物成長調整剤 (刈り込み軽減・根部伸長)

商品名	一般名 (A:1%)	登録メーカー	毒性	魚毒性	包装	KG・L当り単価 (税抜き)	1ケース単価 (税抜き)	1回1㎡当り登録薬量	ワンポイント
グリーンフィールド水和剤	フルルプリミドール 50	日本農薬	普	A	50g×20	68,500	68,500	日本芝:0.2~0.4g、西洋芝:0.1~0.2g、雑草:0.4~0.8g 日本芝草丈伸長抑制:0.025~0.075g スズメノカタビラ密度低減(ペントグラス):0.025~0.05g ペントグラス草丈伸長抑制:0.0125~0.05g ペレニアグラス草丈伸長抑制:0.025~0.075g	芝刈軽減等場面広し、雑草にも適用有り。
					500g×4	62,400	124,800		
グリーンフィールド粒剤	フルルプリミドール 1	日本農薬	普	A	5kg×2	2,400	24,000	日本芝:10~20g、西洋芝:5~10g	さまざまな植物の草丈の伸長を長期抑制。植栽の雑草伸長を抑制し、剪定軽減も可能。
ショートキープ液剤	ビスピリバックナトリウム塩 3	理研グリーン	普	A	1L×5	16,000	80,000	日本芝:0.5~1ml、ノシバ:0.75~1ml 西洋芝:0.1~0.2ml	一年生及び多年生雑草の刈取り軽減。
ドロード液剤	ベンジルアミノプリン 2	理研グリーン	普		1L×3	30,000	90,000	0.6~1.2ml、エテホン加用:0.3~0.6ml	スズメノカタビラの出穂を抑制。ペントグラスに安全性大。プロキシとの混用で効果大。
ナインG乳剤	ニコスルフロン 4	石原バイオ	普		250ml×10	20,000	50,000	0.1~0.15ml	チガヤ、ススキ等の多年生イネ科イネ科雑草の伸長抑制。法面の保護に。
バウンティフロアブル	バクロプロラゾール 21.5	シンジェンタ住友化学 日本農薬・日産化学	普		250ml×4	30,800	30,800	日本芝:0.75~1.5ml、西洋芝:0.04~0.4ml	西洋芝(ペント、ブルー、ライ、フェスク、オーチャード)の刈込み軽減。
ビオロックフロアブル	プロヘキサジオンカルシウム塩 25	クミアイ 理研グリーン	普	A	100ml×8	65,000	52,000	ブルーグラス:0.04~0.08ml、ペントグラス:0.02~0.06ml 無人ヘリ:20倍	日本芝及びブルーグラス・ペントグラスの刈込み軽減。
プリモマックス液剤	トリネキサバックエチル 11.2	シンジェンタ	普		250ml×4	51,000	51,000	日本芝:0.035~0.2ml、西洋芝:0.05~0.2ml 日本芝、西洋芝(ブルー)*無人航空機:0.05~0.1ml	日本芝及び西洋芝(ブルー、ペント、バーミューダー)の刈込み軽減。
プロキシ液剤	エテホン 21.5	バイエル	普		1L×6	16,000	96,000	1~1.5ml	西洋芝(ペント・ケンタッキー)内のスズメノカタビラの出穂抑制。

植物成長調整剤 (ビオロック、プリモ) の使い方



概要: 良いターフを作るために施肥を行うと芝生は伸びます。気温が高い6月から9月にかけては水分が十分あれば芝生は猛烈に成長します。水分が多いということは雨がが多いというわけで芝刈り作業も遅れ気味になり、伸びた芝生はプレー上ばかりでなく、芝生の生理、管理上も問題があります。よい芝生を作るために芝生の成長を抑制する剤の中でも、ビオロックフロアブル、プリモマックス液剤は茎葉から吸収させるという方法で散布の容易さと高い効果を実現しています。

使用場面: 高いクオリティを求められる場面から優先順位をつけて使用したいものです。フェアウェイは刈り込みが容易だからと見られていますが、現実には梅雨時期に徒長したり、刈りかすが残り、スーパーもままならない場合が多いのです。ティ周り、グリーン周りのように面積の割に作業効率の上がらない場所も最適です。ティ面も同時に出来る場合があります。ラフ、特に法面ラフ、要望が多いのがこの場面です。散布に手間がかかるのが欠点ですが、スバウターやラジコンヘリコプターの利用で効率化できます。弊社では、植物成長調整剤散布の請負も行っており、魅力的なプログラムをご用意しています。ご相談下さい。

散布間隔および回数: 5~6週間隔で2回以上散布が効果的です。
㎡当り薬量および水量: 剤の種類、芝の種類により異なります。

***注意事項**

- ・ 散布に適した天候 : 雨天を避けて下さい。
- ・ 散布器具、方法 : 薬液は茎葉部に均一にかかる器具を用いて茎葉散布を行ってください。
- ・ 散布前後の管理
 - ★刈込み・散水 : 散布後1日以内は避けて下さい。
 - ★更新作業 : 植物成長調整剤散布後2週間以内の作業は避けて下さい。
 - ★施肥 : 植物成長調整剤散布前の施肥をお勧めします。施肥後肥効が現れ、刈りかすが増加し始めた頃が散布の適期です。植物成長調整剤散布後2週間以内の施肥は効果を相殺するためお勧めできません。施肥は重要です。この剤の目的は芝生を伸ばささないことではなく良いターフを作ることです。
- ★その他 : ターフの状態により通常より強い効果が現れ、処理後ターフの緑色向上が遅れたり、下葉の枯れが目立つことがありますが、2週間程度で解消し、その後は無処理より緑色が向上します。抑制が切れると芽数が増加します。

